

岩手県福祉用具専門相談員指定講習事業者指定事務等実施要綱 新旧対照表

旧				新			
岩手県福祉用具専門相談員指定講習事業者指定事務等実施要綱				岩手県福祉用具専門相談員指定講習事業者指定事務等実施要綱			
第1条～第12条 〔略〕 附 則 〔略〕 <u>(新設)</u>				第1条～第12条 〔略〕 附 則 〔略〕 附 則 <u>1 この要綱は、令和7年10月6日から施行する。</u> <u>2 令和8年3月31日までに実施する研修については、なお、従前の例による。</u>			
(別紙1)				(別紙1)			
福祉用具専門相談員講習課程				福祉用具専門相談員講習課程			
科目	目的	到達目標	内容	科目	目的	到達目標	内容
1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割				1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割			
福祉用具の役割 (1時間)	〔略〕	・福祉用具の定義について、自立支援の考え方を踏まえて概説できる。 〔略〕	○福祉用具の定義と種類 ・〔略〕 <u>(新設)</u> ○福祉用具の役割 〔略〕 ・ <u>(新設)</u> ・ <u>(新設)</u> 〔略〕	福祉用具の役割 <u>【講義】</u> (1時間)	〔略〕	・福祉用具の定義について、 <u>介護予防</u> と自立支援の考え方を踏まえて概説できる。 〔略〕	○福祉用具の定義と種類 ・〔略〕 <u>※福祉用具の対象種目については、最新の情報を踏まえた講義内容とする。</u> ○福祉用具の役割 〔略〕 ・ <u>介護予防</u> ・ <u>自立支援</u> 〔略〕
福祉用具専門相談員の役割と職業倫理 (1時間)	・介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付けと役割を理解 <u>する。</u> 〔略〕	〔略〕 ・介護保険制度の担い手として職業倫理の重要性を理解し、 <u>仕事をする上での</u> 留意点を列挙できる。	〔略〕 ○福祉用具専門相談員の仕事内容 ・福祉用具による支援（利用目標や選定の援助、使用方法の指導、機能等の点検等） ○職業倫理 <u>・(新設)</u>	福祉用具専門相談員の役割と職業倫理 <u>【講義】</u> (1時間)	・介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付けと役割を理解し、 <u>高齢者等を支援する専門職であることを認識する。</u> 〔略〕	〔略〕 ・介護保険制度の担い手として職業倫理の重要性を理解し、 <u>サービス事業者としての社会的責任について</u> 留意点を列挙できる。	〔略〕 ○福祉用具専門相談員の仕事内容 ・福祉用具による支援（利用目標や選定の援助、 <u>福祉用具貸与計画書等の作成</u> 、使用方法の指導、機能等の点検等） ○ <u>福祉用具専門相談員の職業倫理と介護サービス事業者としての責務</u> <u>・指定基準（人員基準・設備基準・運営基準）</u>

			<p>・(新設)</p> <p>・(新設)</p> <p>・福祉用具専門相談員の倫理（法令順守、守秘義務、利用者本位、専門性の向上等）</p> <p>・(新設)</p>				<p>・介護サービス事業者としての社会的責任（法令遵守、継続的なサービス提供体制の確保と業務継続計画等）</p> <p>・地域包括ケアシステムにおける医療・介護連携とチームアプローチ</p> <p>・福祉用具専門相談員の倫理（法令順守、守秘義務、利用者本位、専門性の向上、社会貢献等）</p> <p>・自己研鑽の努力義務（必要な知識及び技能の修得、維持及び向上）</p>
2 介護保険制度等に関する基礎知識				2 介護保険制度等に関する基礎知識			
介護保険制度等の考え方と仕組み（2時間）	[略]	[略]	<p>[略]</p> <p>(新設)</p> <p>・(新設)</p> <p>[略]</p>	介護保険制度等の考え方と仕組み【講義】（2時間）	[略]	[略]	<p>[略]</p> <p>※最新の情報を踏まえたものとする。</p> <p>・介護サービスのテクノロジー活用推進の動向（科学的介護情報システム等）</p> <p>[略]</p>
介護サービスにおける視点（2時間）	<p>・介護サービスを提供するに当たって基本となる視点を身に付ける。</p> <p>[略]</p>	<p>・利用者の人権と尊厳を保持した関わりを行う際の留意点を列举できる。</p> <p>[略]</p>	<p>○人権と尊厳の保持</p> <p>[略]</p> <p>・(新設)</p> <p>・(新設)</p> <p>○ケアマネジメントの考え方</p> <p>[略]</p> <p>・多職種連携の目的と方法（介護に関わる専門職の種類と専門性及びサービス</p>	介護サービスにおける視点【講義】（2時間）	<p>・介護サービスを提供するに当たって基本となる視点を</p> <p>[略]</p>	<p>・利用者の人権と尊厳を保持した関わりを持つ上で配慮すべき点を</p> <p>列举できる。</p> <p>[略]</p>	<p>○人権と尊厳の保持</p> <p>[略]</p> <p>・虐待防止（早期発見の努力義務、発見から通報までの流れ）</p> <p>・身体拘束禁止と緊急やむを得ない場合の対応</p> <p>○ケアマネジメントの考え方</p> <p>[略]</p> <p>・多職種連携の目的と方法（介護に関わる専門職の種類と専門性及びサービス</p>

			ス担当者会議等での連携の具体例)				ス担当者会議、退院退所前カンファレンス等における医療・介護職からの情報収集や連携の具体例)
3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識				3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識			
からだところの理解 (6時間)	[略] ・(新設)	[略] ・認知症の症状と心理・行動の特徴を理解し、それを踏まえた関わり方を列挙できる。 (新設)	○加齢に伴う心身機能の変化の特徴 [略] ・(新設) [略] ・(新設) ○認知症の理解と対応 ・(新設) ・(新設) [略] ○(新設) ・(新設) ・(新設)	からだところの理解 【講義】 (6.5時間)	[略] ・感染症に関する基本的な知識を踏まえ、必要となる感染症対策を理解する。	[略] ・認知症の症状と心理・行動の特徴を理解し、認知症ケアの実践に必要なとなる基礎的事項を概説できる。 ・主な感染症と感染症対策の基礎的事項、罹患した際の対応を概説できる。	○加齢に伴う心身機能の変化の特徴 [略] ・フレイルと健康寿命 [略] ・介護保険に定める特定疾病 ○認知症の人の理解と対応 ・認知症の人を取り巻く状況 ・認知症ケアの基礎となる理念や考え方 [略] ○感染症と対策 ・感染症の種類、原因と経路 ・基本的な感染症対策と罹患した際の対応
リハビリテーション (2時間)	[略]			リハビリテーション 【講義】 (2時間)	[略]		
高齢者の日常生活の理解 (2時間)	・高齢者等の日常生活の個性や家族との関係など、生活全般を捉える視点を身に付ける。 [略]	[略]		高齢者の日常生活の理解 【講義】 (2時間)	・高齢者等の日常生活の個性や家族との関係など、生活全般を捉える視点を修得する。 [略]	[略]	
介護技術 (4時間)	[略]			介護技術 【講義・演	[略]		

				<u>習】</u> (4時間)			
住環境と住宅改修 (2時間)	[略]			住環境と住宅改修 <u>【講義・演習】</u> (2時間)	[略]		
4 個別の福祉用具に関する知識・技術				4 個別の福祉用具に関する知識・技術			
福祉用具の特徴 (8時間)	[略]	[略]	○福祉用具の種類、機能及び構造 ※起居、移乗、移動、床ずれ、排泄、入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連用具及びその他の福祉用具 [略]	福祉用具の特徴 <u>【講義・演習】</u> (8時間)	[略]	[略]	○福祉用具の種類、機能及び構造 ※起居、移乗、移動、床ずれ、排泄、入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連用具及び <u>テクノロジーを活用した機能を有する福祉用具等、最新の情報を踏まえた講義内容とする。</u> [略]
福祉用具の活用 (8時間)	[略]	[略]	[略]	福祉用具の活用 <u>【講義・演習】</u> (8時間)	[略]	[略]	[略]
<u>(新設)</u>				<u>福祉用具の安全利用とリスクマネジメント</u> <u>【講義・演習】</u> <u>(1.5時間)</u>	<u>・福祉用具を安全に利用する上で必要となるリスクマネジメントの重要性を理解する。</u> <u>・福祉用具事故・ヒヤリハットに関する情報収集の方法や事故報告の流れを理解する。</u>	<u>・福祉用具利用のリスクマネジメントについて理解し、事故防止の取組や事故発生時の対応について概説できる。</u> <u>・福祉用具を安全に利用する上での留意点を理解し、重大事故や利用時に多いヒヤリ</u>	<u>○福祉用具利用安全に関わる情報収集の重要性と具体的方法</u> <u>・消費生活用製品安全法における重大事故の報告義務・重大事故の情報収集、ヒヤリハット情報収集</u> <u>○福祉用具事業者の事故報告義務</u> <u>・事故報告のしくみと事故報告様式</u>

						<u>ハットを例示で きる。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>事故要因分析と再発防止策</u> ○<u>危険予知とリスクマネジメントの取組</u> ・<u>福祉用具を安全に利用する上での留意点（誤った使用方法、典型的な事故や重大事故）</u> ・<u>様々な福祉用具を組み合わせ活用している等、実際の介護場面に潜む危険の予測</u>
5 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識				5 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識 <u>及び支援に関する総合演習</u>			
福祉用具の供給の仕組み (<u>2</u> 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の供給の<u>流れや整備方法を理解する。</u> ・(<u>新設</u>) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の供給の流れと各段階の内容を列举できる。 ・(<u>新設</u>) <p>[略]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉用具の供給の流れ ・<u>福祉用具の製造、輸入、販売及び貸与の流れ</u> ・介護保険法における福祉用具<u>貸与事業の内容</u> ・(<u>新設</u>) ○(<u>新設</u>) 	福祉用具の供給とサービスの仕組み <u>【講義】</u> (<u>3</u> 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の供給やサービスの流れ、及びサービス提供を行う上での<u>留意点について理解する。</u> ・<u>清潔かつ安全で正常な福祉用具を提供する意義と整備方法を理解する。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の供給やサービスの流れと各段階の内容を列举できる。 ・<u>介護保険制度等における福祉用具サービス提供時の留意点を概説できる。</u> <p>[略]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉用具の供給やサービスの流れ ・(<u>削除</u>) ・介護保険法における福祉用具サービスの内容（貸与・特定福祉用具販売） ・福祉用具の供給（サービス）の流れ ○福祉用具サービス提供時の留意点 ・機能や価格帯の異なる複数商品の提示、選定の判断基準、要支援・要介護1の者等への給付制限と例外給付の対応、貸与・販売の選択制対象種目への対応 ・介護施設・高齢者住宅の区分・種類に応じた福祉用具サービス提供の可否 ・介護保険制度における福祉用具サービスと補装

			<p>○福祉用具の整備方法</p> <p>・<u>消毒、保守点検等</u></p>				<p><u>具・日常生活用具給付制度との適応関係等</u></p> <p>○福祉用具の整備方法</p> <p>・<u>清潔かつ安全で正常な機能を有する福祉用具提供のための消毒、保守点検等の方法と留意点</u></p>
<p>福祉用具貸与計画等の意義と活用（5時間）</p>	<p>[略]</p> <p>・（新設）</p>	<p>[略]</p> <p>・福祉用具貸与計画等の活用ポイントを列举できる。</p> <p>・利用者の心身の状況や生活における希望、生活環境等を踏まえた利用目標の設定や選定の重要性を概説できる。</p> <p>[略]</p> <p>・（新設）</p>	<p>○福祉用具による支援の手順の考え方</p> <p>・<u>居宅サービス計画と福祉用具貸与計画等の関係性</u></p> <p>・アセスメント、利用目標の設定、選定、福祉用具貸与計画等の作成、適合・使用方法の説明、モニタリング等</p> <p>・（新設）</p> <p>・<u>状態像に応じた福祉用具の利用事例（福祉用具の組合せや利用上の留意点、見直しの頻度、医療・介護・地域資源との連携方法等）</u></p> <p>[略]</p> <p>○福祉用具貸与計画等の記載内容</p> <p>・利用者の基本情報、福祉用具が必要な理由、福祉用具の利用目標、具体的な福祉用具の機種と当該用具を選定した理由その他関係者間で共有すべき情報</p>	<p>福祉用具による支援プロセスの理解・福祉用具貸与計画等の作成と活用【講義・演習】（10時間）</p>	<p>[略]</p> <p>・<u>福祉用具の支援プロセスにおける安全利用推進の重要性を理解する。</u></p> <p>・<u>事例を通じて、福祉用具貸与計画等の基本的な作成と活用技術を習得し、PDCAサイクルに基づく福祉用具サービスのプロセスを理解する。</u></p> <p>・<u>多職種連携において福祉用具専門相談員が果たす役割を理解するとともに、継続して学習し研鑽することの重要性を認識する。</u></p>	<p>[略]</p> <p>・福祉用具貸与計画等の作成と活用における主要なポイントを列举できる。</p> <p>・利用者の心身の状況や生活における希望、生活環境等を踏まえた利用目標の設定や選定の重要性を理解し、概説できる。</p> <p>[略]</p> <p>・<u>福祉用具の支援プロセスにおける安全利用推進の重要性について概説できる。</u></p> <p>・<u>福祉用具貸与計画等の作成・活用方法について、福祉用具による支援の手順に沿って列举できる。</u></p> <p>・<u>個別の状態像や課題に応じた福祉用具による支援の実践に向けて、多職種連携の重要性を</u></p>	<p>○福祉用具による支援とPDCAサイクルに基づく手順の考え方</p> <p>・（削除）</p> <p>・アセスメント、利用目標の設定、選定、福祉用具貸与計画等の作成、適合・使用方法の説明、モニタリング等と記録の交付</p> <p>・<u>居宅サービス計画と福祉用具貸与計画等の関係性</u></p> <p>・（削除）</p> <p>[略]</p> <p>○福祉用具貸与計画等の記載内容</p> <p>・利用者の基本情報、福祉用具が必要な理由、福祉用具の利用目標、具体的な福祉用具の機種と当該用具を選定した理由、モニタリング実施時期、その他関係者間で共有すべき情報（福祉用具を安全</p>

			<p>[略]</p> <p>○モニタリングの意義と方法</p> <p>[略]</p> <p>・モニタリング時^{の目標達成度の評価・計画変更}</p> <p>○（新設）</p> <p>○（新設）</p>			<p><u>理解し、福祉用具専門相談員としての目標や自己研鑽の継続課題を列挙できる。</u></p>	<p><u>に利用するために特に注意が必要な事項等）</u></p> <p>[略]</p> <p>○モニタリングの意義と方法</p> <p>[略]</p> <p>・モニタリング時^{における確認事項（福祉用具の利用状況や安全性の確認、目標達成度の評価、貸与継続の必要性、計画変更等）}</p> <p>○状態像に応じた福祉用具の利用事例（福祉用具の組み合わせや利用上の留意点、見直しの頻度、医療・介護・地域資源との連携方法等）</p> <p>○事例による総合演習</p> <p>・事例に基づくアセスメント、利用目標の設定、福祉用具の選定及び福祉用具貸与計画等の作成とモニタリングの演習</p> <p>・利用者・家族やサービス担当者会議等での福祉用具貸与計画等のわかりやすい説明及びモニタリングに関するロールプレイング</p> <p>※事例は、脳卒中による後遺症、廃用症候群、認知症などの高齢者に多い状態像とし、地域包括ケアにおける福祉用具貸与等の役割や多職種からの情報収集等による連携の重</p>
--	--	--	---	--	--	--	---

							<u>要性に対する理解が深まるものが望ましい。</u> <u>※講習の締め括りとしての講義・演習であることから、全体内容の振り返りとともに継続的に研鑽することの必要性を理解できることが望ましい。</u>
<u>6 福祉用具の利用の支援に関する総合演習</u>				<u>(削除)</u>			
<u>福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成（5時間）</u>	<u>・事例を通じて、福祉用具による支援の手順の具体的なイメージを得るとともに、福祉用具貸与計画等の基本的な作成・活用技術を修得する。</u>	<u>・福祉用具貸与計画等の作成・活用における一連の手順を列挙できる。</u> <u>・福祉用具貸与計画等の作成における主要なポイントを列挙できる。</u>	<u>○事例演習</u> <u>・事例に基づくアセスメント、利用目標の設定、福祉用具の選定及び福祉用具貸与計画等の作成の演習</u> <u>・利用者・家族やサービス担当者会議等での福祉用具貸与計画等の説明及びモニタリングに関するロールプレイング</u> <u>※事例は、脳卒中による後遺症</u>				

(別紙2) 講 師 要 件 表		(別紙2) 講 師 要 件 表	
科 目		講 師 の 要 件	
[略]		[略]	
三 高齢者と介護・医療に関する基礎知識		三 高齢者と介護・医療に関する基礎知識	
[略]	[略]	[略]	[略]
(2) リハビリテーション	①医師 ②理学療法士 ③作業療法士 ④大学院等教員 ⑤前記以外の者でその業績を審査することによって当該科目の担当に適任であると特に認められる者	(2) リハビリテーション	①医師 ②看護師 ③理学療法士 ④作業療法士 ⑤大学院等教員 ⑥前記以外の者でその業績を審査することによって当該科目の担当に適任であると特に認められる者
[略]	[略]	[略]	[略]
四 個別の福祉用具に関する知識・技術		四 個別の福祉用具に関する知識・技術	
[略]	[略]	[略]	[略]
<u>(新設)</u>	<u>(新設)</u>	(3) <u>福祉用具の安全利用とリスクマネジメント</u>	①理学療法士 ②作業療法士 ③福祉用具専門相談員 ④福祉用具プランナー研修修了者 ⑤介護機器相談指導員 ⑥大学院等教員 ⑦前記以外の者でその業績を審査することによって当該科目の担当に適任であると特に認められる者
五 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識		五 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識及び支援に関する総合演習	
(1) 福祉用具の供給の仕組み	[略]	(1) 福祉用具の供給とサービスの仕組み	[略]
(2) <u>福祉用具による支援プロセスの理解・福祉用具貸与計画等の意義と活用</u>		(2) <u>福祉用具による支援プロセスの理解・福祉用具貸与計画の作成と活用</u>	
六 <u>福祉用具の利用の支援に関する総合演習</u>		<u>(削除)</u>	
<u>福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成</u>	①保健師 ②看護師 ③理学療法士 ④作業療法士 ⑤介護福祉士 ⑥福祉用具専門相談員 ⑦福祉用具プランナー研修修了者 ⑧大学院等教員 ⑨前記以外の者でその業績を審査することによって当該科目の担当に適任であると特に認められる者		
(別紙3) [略]		(別紙3) [略]	
(備考) 改正部分は、下線の部分である。			